

基本目標4 <産業振興> 活力と魅力にあふれ、産業が成長し続ける まちづくり

政策4 人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります

政策担当部局：農林部、商工観光部

施策4-1 農林業の持続的発展

施策4-2 活気ある商業の振興

施策3-3 活力ある工業の振興

施策4-4 地域資源を生かした観光・物産振興

施策4-5 魅力ある企業の育成と雇用機会の拡大

施策4-1 農林業の持続的発展

施策担当部局：農林部

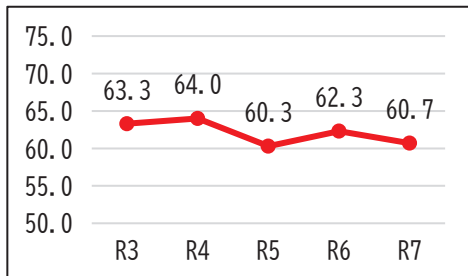
目指す将来の姿

生産性と収益性の高い魅力ある農林業の展開により、活力ある地域社会が形成され、基幹産業である農林業が持続的に発展しています。

まちづくり指標

「農林業の持続的発展」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値
（過去5年平均）

61.8点

目標値
（R12）

68.0点

施策の成果指標

新規就農者数（年間）

現状値
（直近値）

50人

目標値
（R12）

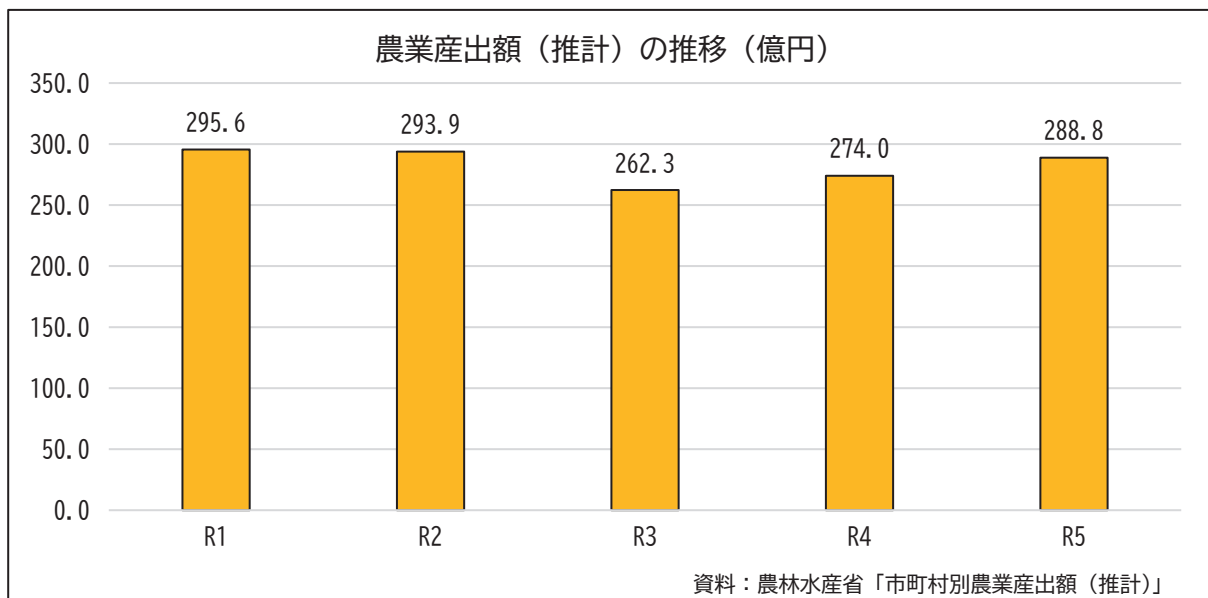
55人

農業産出額（前前年度推計値）

369億円

375億円

関連グラフ



現状と課題

- 1 農業従事者の減少と高齢化及び後継者不足により、離農や耕作放棄地、果樹園の廃園や放任園も増加傾向にあります。多様な農業人材の確保と育成を図るとともに、農地の面的集約を進め、経営の安定化と生産性の向上を図る必要があります。
- 2 当市は稲作を中心に野菜、果樹及び畜産などの複合産地化が進んでおり、全国的にも高い農業生産額を誇っています。また、特別栽培米やe c o(エコ)rais、果樹の統一ブランドなど、付加価値の高い農産物の販売が促進されています。しかし、燃料や資機材の高騰による生産コストの上昇や異常気象は農業経営に深刻な影響を与えています。今後も産地を維持していくために、作業の省力化や効率化、生産コストの低減等により生産性の向上を図るとともに、更なる農業所得向上に向けた取組が必要です。また、異常気象への対応、もみ殻や廃菌床など農業副産物の活用も必要です。
- 3 市とJAの連携によるPR活動や情報発信により、横手市産農産物の知名度向上につながっています。また、農業に由来する伝統的食文化のプロモーション活動や横手市産農産物の地産地消の取組も進められています。農業者の所得向上に向けて、産地の魅力発信や販路拡大を推進するとともに、食文化の継承や地域内での利用拡大など、複合産地の地域特性や強みを生かした取組を更に進めていく必要があります。
- 4 小規模な圃場や農地の分散錯圃により作業性が上がらない状況があります。また、耕作条件が不利な中山間地域では特に担い手の確保が難しく、耕作放棄地や野生動物による被害が増加しています。更には少子高齢化と人口減少により地域活力の低下も進んでいます。生産性を向上させるための基盤整備を推進していく必要があります。また、農林業の有する多面的機能（国土保全、水源涵養、景観形成等）を維持するため、地域ぐるみで農山村環境の保全に取り組むことが必要となっています。更に地域の特性や資源を生かした農業の推進も必要です。
- 5 森林への関心が薄れていることや、木材価格の低迷と木材需要が縮小傾向にあることに加え、所有者不明の山林や林業経営の後継者不足により、森林整備に支障をきたしています。適正な森林管理を実施するため「伐って・使って・植えて・育てる」といった森林資源の循環利用の推進が必要です。

取組方針

多様な担い手の確保と育成、農地の集積・集約化による生産基盤強化、及び気候変動に強い農業の推進に取り組みます。さらに農業の複合化と6次産業化による収益性の向上、スマート農業技術等の活用による農業生産の効率化と省力化を進めます。また、林業においても木材利用の推進や林業人材の育成に取り組み、森林環境譲与税を活用した適正な森林整備を推進します。

施策の展開

1 経営能力に優れた多様な経営体の育成

- 地域農業の担い手となる認定農業者や新規就農者の確保・育成とともに、雇用就農の受け皿となる経営体の育成を推進します。
- 経営体における就労条件や労働環境の整備を推進し、人材の確保・定着を図ります。
- 地域計画の実践により、意欲ある担い手への農地の集積・面的集約を推進し、経営の効率化と安定化を図ります。

主要事業等 就農支援事業、農業経営支援事業、よこて農業創生大学事業

2 生産性と収益性の高い農業の推進

- 園芸作物の生産体制を強化し、農地のフル活用による複合産地化を推進します。
- スマート農業を積極的に推進し、作業の省力化や生産性の向上、品質の確保を図ります。
- 気候変動による異常気象に対応するため、県などの関係機関と連携し気候変動や災害に強い農業を推進します。

主要事業等 作物振興事業、スマート農業普及支援事業

3 地域の特性を生かした魅力ある農業の推進

- 地域資源を有効活用した6次産業化の取組を支援します。
- 社会情勢や市場の動向を注視し、国内における横手市産農産物の販路拡大を支援するとともに、海外マーケットの開拓に対する取組も支援します。
- 農業の魅力発信や農業体験等を通じて、交流人口の拡大を図り、農業・農村への関心や関りを深めます。
- 地産地消や食育の普及により、伝統的な食文化の継承と市産農産物の利用拡大を推進します。
- 環境負荷を低減する取組を推進し、環境と調和のとれた持続可能な農業を目指します。

主要事業等 食農推進事業、発酵文化のまちづくり事業

4 生産基盤の整備と農村環境の保全

- 農地の大区画化や水利施設の整備を促進し、生産基盤の強化を図ります。
- 農業の有する多面的機能が適切に維持・発揮されるよう、生産基盤の維持管理と地域の共同活動に対する支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進します。
- 中山間地域の農地の維持・保全に努め、農業生産活動の継続と耕作放棄地の拡大防止を図ります。

主要事業等 農業生産基盤整備事業（農地の大区画化、水利施設の整備）、多面的機能支払交付金事業、直接支払交付金事業（中山間地域等・環境保全型農業）

5 森林資源の循環利用の推進

- 施業の効率化を図るため、林道施設の改良や長寿命化、新規路網の整備を実施します。
- 適切な手入れがされていない森林の整備を進めるため、森林経営管理制度の取組を促進します。
- 健全な森林づくりを目指し、民有林の再造林や保育を支援します。
- 木材利用の促進や林業人材の育成などにより、持続可能な森林整備を推進します。

主要事業等

路網整備事業（林道改良事業など）、森林経営管理事業（森林環境譲与税活用事業）



みんなで一緒にできること

- 私たちは、地域の食文化に誇りをもち、地元農産物の消費拡大に努めます。また、贈り物などにより、地元農産物を積極的にPRします。
- 私たちは、農業の有する多面的機能が適切に維持・発揮されるよう、地域が共同で行う農道や水路などの維持管理活動に積極的に参加します。
- 私たちは、横手市の農林業の姿を学び、地元の農産物や林産物を地域で消費しようとする取組を相互理解のもと推進することで、食料自給率の向上や地域内農林業の活性化を図ります。

関連計画

横手市農業振興計画、横手市農業振興地域整備計画、横手市食育推進計画、横手市森林整備計画

施策4-2 活気ある商業の振興

施策担当部局：商工観光部

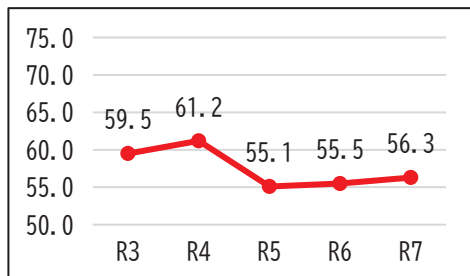
目指す将来の姿

起業・創業により新たなビジネスが創出されるとともに、地域に根差した魅力ある事業が未来へと承継されることで、市内商業が活性化しています。

まちづくり指標

「商業の振興」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値
（過去5年平均）

57.0点

目標値
（R12）

62.7点

施策の成果指標

起業者数（年間）（起業創業支援事業等活用延べ人数）

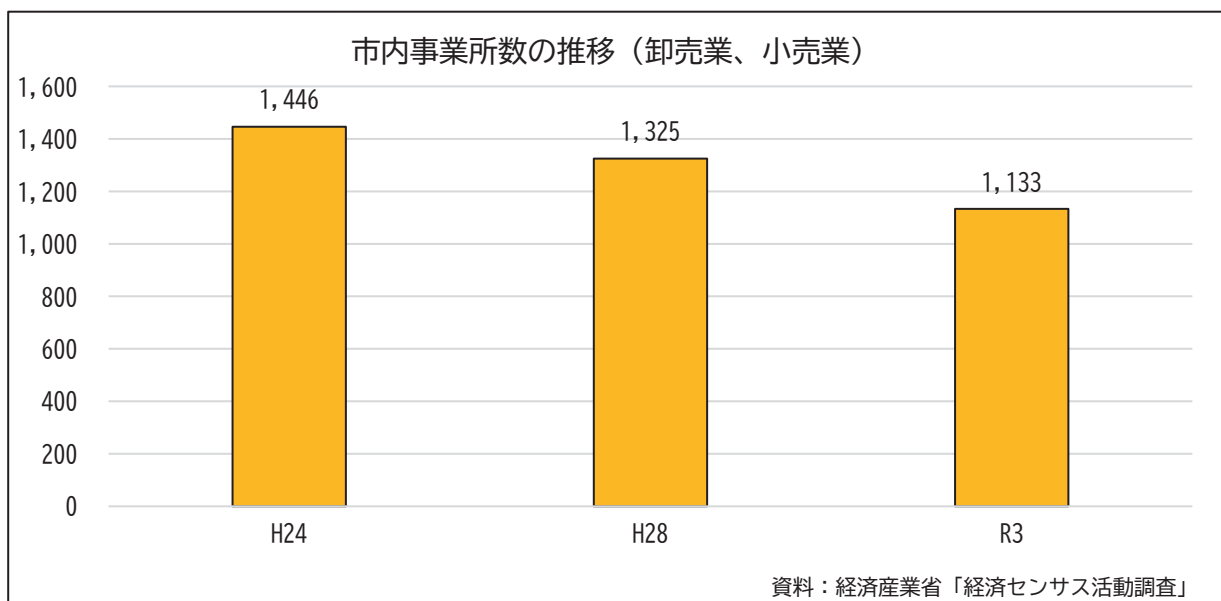
現状値
（平均）

50人

目標値
（R12）

55人

関連グラフ



現状と課題

- 1 市内の卸売・小売業、宿泊業、飲食サービス業は小規模事業者が大半を占め、事業所数、従業員数は減少傾向にあります。市内総生産額を見ると新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した状態を回復しきれれていません。また、後継者不足等による空き店舗が増加しています。地域商業を活性化させるため、中心市街地や商店街などの賑わい創出と魅力向上、労働生産性の向上、販路拡大を図る必要があります。
- 2 人口の社会増減をみると、10代後半～20代前半の若年者の転出が多く、商業を継承する担い手が不足しています。進学・就職等で市外へ流出した若年者を地元呼び戻すため、若年者の雇用の受け皿となる多様な職種を確保し、新たなビジネスを生み出す可能性のある起業・創業を支援する必要があります。
- 3 当市の事業所が減少している要因の一つとして、経営者の高齢化と後継者不足があります。市内の事業所の多くは、経営者の高齢化に伴い世代交代の時期を迎えています。事業所が有する技術、ノウハウ等の貴重な経営資源や雇用の確保のためにも、円滑な事業承継への取組を強化していく必要があります。
- 4 当市の事業所の多くは中小規模事業所であり、経済情勢の変化が、事業の成長や存続に大きな影響を受ける状況にあります。事業の成長及び経営の安定化を図るための取組が必要です。



取組方針

個々の事業者の経営強化を支援するとともに、空き店舗対策や、商店街、商工団体などが行う地域商業を活性化させるための取組を支援します。あわせて事業承継のマッチングを進めます。また、Bizサポートよこてを活用した起業者への支援や相談体制を充実させ、経営者としての成長、事業の発展、活動を後押しするための育成支援を行います。

施策の展開

1 商業の振興

- 事業者が連携して行う賑わい創出や魅力向上のための取組に加え、販路開拓などの労働生産性向上に資する活動やチャレンジへの支援を行います。
- 商店街等の空き店舗を活用して開業を希望する方への支援を行います。

主要事業等 地域商業活性化支援事業

2 起業・創業者の育成と支援

- 市内起業・創業者の増加を図るため、Bizサポートよこての機能強化と利活用を促進し、市内商工団体等との連携を図り、事業を始めようとする方の負担軽減と不安解消に努めます。
- 具体的な起業プランを持つ方や、ユニークでオリジナリティあふれる方など、将来的に横手市を代表する起業家となることが期待される人材の成長を支援します。

主要事業等 起業・創業支援事業、Bizサポートよこて費

3 事業承継への支援

- 後継者不在の個人事業主を含む市内中小企業者等の事業承継について、関係機関と連携しながら支援します。

主要事業等 商工団体連携地域活性化事業

4 中小企業等への経営的な支援

- 商工業振興のための核となる事業を展開する団体への支援を行うとともに、事業資金を必要とする市内中小企業等に対し、融資あっせんや利子補給事業を行います。

主要事業等 金融対策費



みんなで一緒にできること

- 私たちは、地域の商店を利用し、また商店街などにおける販わい創出イベント等にも積極的に参加します。
- 私たちは、贈り物として地場産品を活用することで、横手市の魅力をPRします。
- 事業者は、地場産品の供給など地域の特色を出した商品の提供や地域の消費者ニーズに合わせた経営を行います。
- 事業者は、経営等に必要なスキルを学びながら、新たなビジネスに挑戦し続けます。

関連計画

横手市商工業振興計画、横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策4-3 活力ある工業の振興

施策担当部局：商工観光部

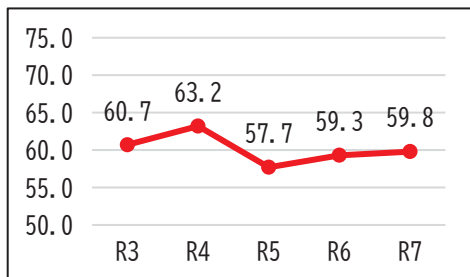
目指す将来の姿

高付加価値を生み出す競争力の高い企業が多く操業していることで市内経済活動が活性化し、地域産業が発展しています。

まちづくり指標

「工業の振興」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値
（過去5年平均）

60.0点

目標値
（R12）

66.0点

施策の成果指標

現状値
（直近値）

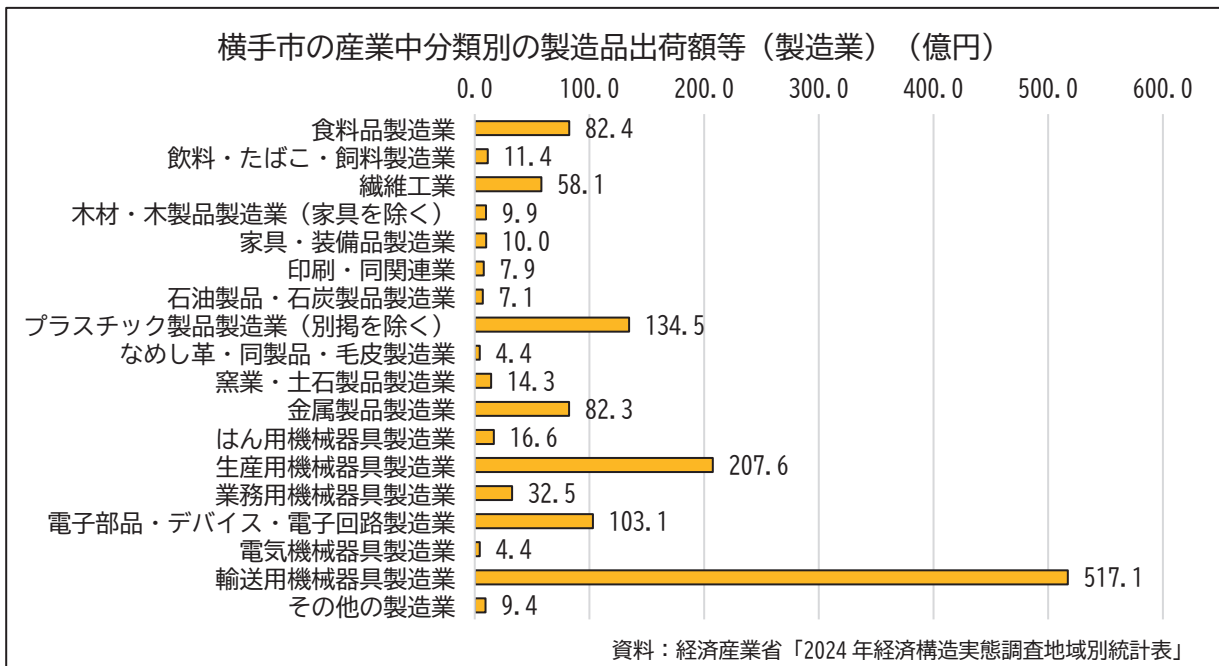
10社

目標値
（R12）

12社

輸送機関連産業集積数（累計）

関連グラフ



現状と課題

- 1 当市の製造品出荷額は、輸送機関連産業の割合が最も高くなっており、また、県全体の輸送機関連産業出荷額においても高い割合を占めています。当市経済の更なる成長につながるためにも、裾野が広い産業である輸送機関連産業の集積を促進することが必要です。
- 2 東北地方にある自動車完成車メーカーは、従前より現地調達率を上げたい意向を示しています。関連する企業間の連携が必要です。
- 3 災害や非常事態が発生した場合を想定して策定する業務継続計画（BCP）について、現状、市内企業においては策定の必要性の認識が十分に浸透しているとは言えない状況です。災害等の発生時における業務継続ができないことによる経済的損失の回避やイメージダウンの抑止、また、従業員の安全性確保の観点からも速やかなBCP対策の促進が必要です。
- 4 人口減少及び少子高齢化により市内の事業所数や従事者数は減少傾向にあります。人口減少下にあっても市内企業が将来にわたり経営を持続していくために、企業内の生産性の向上や高付加価値製品の開発等、持続可能な経営基盤確立につながる施策を推進していく必要があります。

用語解説

- BCP
「Business continuity plan」の略。自然災害など非常事態が発生した際に被害を最小限に抑えつつ、扱う事業のなかで最も重要性が高いものを中断させない、あるいは中断しても短時間で再開させるための計画のこと。行政機関等では、「業務継続計画」、民間企業では「事業継続計画」と呼ばれることが多い。

取組方針

当市経済の牽引産業である輸送機関連産業をはじめ市内の地域産業を更に成長させるため、企業間のマッチングや設備投資を支援し、産業としての厚みの増加を図ります。また、競争力の高い企業育成のため、効率的な生産体制の構築や付加価値化を推進し支援することで、活力ある地域産業及び雇用創出に取り組みます。

施策の展開

1 輸送機関連産業の成長促進

- 当市の製造業を牽引する輸送機関連産業のさらなる成長を促進するための支援を展開します。

主要事業等 成長産業支援事業

2 企業間連携の推進

- 地元企業と誘致企業が取引できるよう企業間のマッチングを推進することで、企業の技術力向上や販路拡大等の取組を支援します。

主要事業等 企業訪問、県施設幹旋

3 BCP対策の普及促進

- 市内企業の業務継続計画（BCP）の策定を促進するため、計画の必要性について普及啓発に努めます。

主要事業等 企業訪問

4 経営持続への支援

- 地元企業が実施する、生産性向上のための設備投資への支援を積極的に取り組みます。
- 市内企業等の、高付加価値製品開発や技術開発のための環境を構築します。

主要事業等 中小企業活性化支援事業





みんなで一緒にできること

- 事業者は、企業間連携を深め、技術力向上やマッチングによる販路拡大や製品開発に取り組めます。
- 事業者は、地域経済循環構造を構築し、市民所得の向上を図ります。

用語解説

- 地域経済循環構造
地域の経済活動で「生産」された付加価値が、労働者や企業に分配され「所得」となり、消費や投資として「支出」され、再び地域に還流すること。

関連計画

横手市商工業振興計画、横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策4-4 地域資源を生かした観光・物産振興

施策担当部局：商工観光部

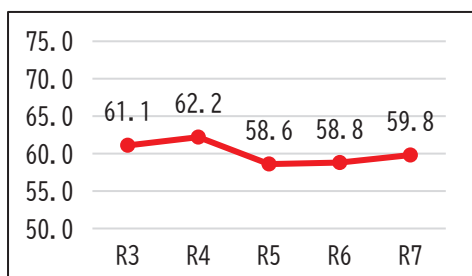
目指す将来の姿

当地の地域資源を活用した観光の推進により、国内外観光客の満足度と市民の関心が高まり、観光客増加の好循環が起っています。また、農商工が連携した「稼ぐ観光」施策を展開することで観光消費額が拡大し、市内経済が活性化しています。

まちづくり指標

「観光の振興」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値
（過去5年平均）

59.9点

目標値
（R12）

65.9点

施策の成果指標

現状値
（直近値）

234千人

目標値
（R12）

244千人

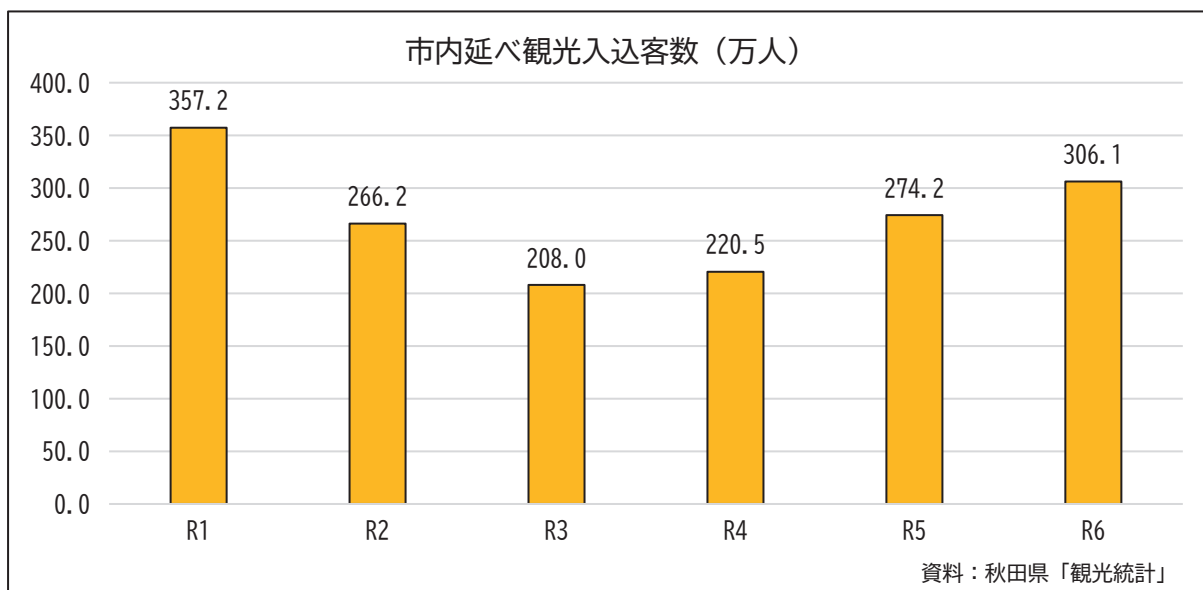
市内延べ宿泊者数（年間）

3,061千人

3,218千人

市内延べ観光入込客数（年間）

関連グラフ



現状と課題

- 1 当市の観光入れ込み客数は、令和6年度で年間延べ約306万人、宿泊者数は延べ23万4千人で、コロナ禍前の9割程度にとどまっています。このため、当市が有する観光物産資源を今一度検証し、そのポテンシャルを十分に引き出し、経済効果が実感できる取組を進めていく必要があります。
- 2 まつりやイベント、食を含む地域の伝統文化を支えてきた人々の高齢化、担い手不足が顕著になってきており、開催規模の縮小や継続・継承が困難な事例が出てきています。文化や技を継承し故郷を心に刻むためにも、若者とりわけ子どもたちが参画する機会の創出や、外部人材の受け入れによる継続策の展開など、他分野と連携した対策が必要です。
- 3 訪日観光客は増加傾向にあるものの、当市への波及は少ない状況であり、国内の人口減少が進む中では将来に向けても重要なターゲットとなります。外国人観光客が訪れたいくなる、求めたいくなるような観光資源の磨き上げや体験コンテンツの開発が急務となっています。また、地理的ハンデの克服、宿泊施設や観光施設などのハード・ソフト両面の受け入れ体制の整備も必要です。
- 4 人口減少により国内市場が縮小している中、当市では、出身者を中心とした横手ファンを「応援人口」と位置づけ、その数は1万人を超えています。これまで、様々な場面で応援をいただきながら、物産振興施策などにおいて大きな成果を上げてきましたが、構築した応援人口基盤を生かす事業発展が必要な段階となっています。今後は、更なる応援人口の獲得に努めながら、観光を始めとする他分野への波及なども意識した柔軟な事業展開と、新たなターゲット層の発掘が必要です。
- 5 観光施策が地域に更なる経済効果をもたらすために、観光客の消費を意識した取組を実施していますが、観光客一人あたりの消費額は全国と比較すると高いとは言えない状況にあります。新たに横手市立体育館が完成し、多くのお客様を迎える機会も拡大していくことから、交流人口の増加を更なる経済効果につなげる仕組みが必要です。このため、自治体や産業分野を横断した戦略的な施策展開により滞在時間の延長や消費の拡大などを図り、地域への経済効果を高めていく必要があります。

取組方針

当市が有する地域資源を守り、磨き上げを行うことで、その魅力を最大限に引き出し、観光客のニーズに対応した「観光のまちよこて」を推進します。その上で、戦略的な観光誘客と物産振興、情報発信や消費の誘導により、市内事業者の連動性と生産性を高め、「稼ぐ観光」の実現に向けた取組・支援を推進していきます。

施策の展開

1 魅力ある観光資源の活用

- 田園都市の多様な観光資源を生かすため、地域おこし協力隊など外部人材の視点を取り入れながら発掘、磨き上げに取り組みます。

主要事業等 よこて観光地域づくり推進事業

観光誘客の取組強化

- かまくら体験をはじめ、冬季体験コンテンツの長期提供と差別化により、冬季の観光需要の底上げと平準化に取り組みます。
- 「観光のまちよこて」としての市民の誇りを醸成させ、ホスピタリティの高いまちとして発信します。

主要事業等 観光誘客推進事業

効果的な情報発信の推進

- SNSを活用して、ターゲットに合わせた訴求力のある情報発信を行います。
- 市内観光情報を一元化するための体制整備を行い、観光客の情報収集の効率化を図るため、多角的な情報提供を推進します。
- 各種調査により、観光客の動向やニーズなどのデータ分析結果を観光事業者へ提供し、戦略的なプロモーションに活用します。

主要事業等 観光誘客推進事業、機能合体事業、よこて観光地域づくり推進事業

2 市民や観光客の参加機会の創出

- 慣習や慣例等にとらわれることなく、文化の本質を再検討しながら、市民や観光客が参加しやすい持続可能なまつりやイベントづくりに取り組みます。

主要事業等 観光振興事業

3 国内外からの観光誘客の推進

- 国内外のターゲットを明確にして、戦略的なプロモーションを行います。
- ソフト・ハード両面における観光客の利便性向上により、満足度を高め、リピーターの獲得を目指します。

主要事業等 観光誘客推進事業

観光施設の適正な管理

- 観光施設等の予防修繕を実施し長寿命化を図るなど、施設・設備の適正な維持管理を実施し、施設の魅力アップに努めます。

主要事業等 観光施設等の運営

4 地域資源を活用した産業振興

- 応援人口をターゲットとした、地域製品の販売促進・PRや誘客を進めます。
- 魅力ある横手産品を国内外の企業等に効果的に結び付ける仕組みを構築します。
- ブランド価値向上のため、マーケットインの視点による横手産品のブラッシュアップを進めます。
- 農商工が連携し、付加価値の高い商品・サービスを地域内外に展開し、持続可能な産業構造の構築を図ります。

主要事業等 応援人口拡大事業、横手産品販路拡大事業

5 滞在時間延長と消費拡大

- 近隣市町村と連携し、エリアとしての存在感を高めます。
- 宿泊につながる夜の飲食やイベント、アクティビティの充実や情報発信に努めます。
- 横手市立体育館や市内観光施設への来訪者を、市内各地域へと回遊させ、滞在時間延長と観光消費額の拡大を図ります。

主要事業等 観光誘客推進事業、機能合体事業

用語解説

- **マーケットイン**
市場（顧客）ニーズを調査し、市場で何が求められているかを理解した上で、それに沿う製品やサービスを開発・提供する姿勢のこと。
- **アクティビティ**
自然体験、ものづくり体験、伝統文化体験など旅行・レジャーでの体験プログラムのこと。

みんなで一緒にできること

- 私たちは、歴史や文化、風土への理解を深めることにより横手愛を育み、一人ひとりが横手の良さを発信していきます。
- 私たちは、地域の祭りやイベントを楽しむとともに、積極的に参画・協力します。
- 私たちは、地域経済の好循環につなげるため、観光関連業界、団体、行政等が一体となり、観光と物産を振興します。

関連計画

横手市観光振興計画、横手市歴史文化遺産保存活用地域計画、横手市歴史的風致維持向上計画、横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策4-5 魅力ある企業の育成と雇用機会の拡大

施策担当部局：商工観光部

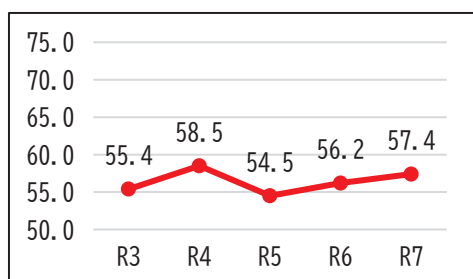
目指す将来の姿

多様な職種の企業が成長し、魅力ある就業の場が増えることで、地域の将来を担う世代をはじめ、多くの人々が地元で生き生きと活躍しています。

まちづくり指標

「企業育成と雇用対策」に対する市民満足度

過去5年の市民満足度（点）



現状値
（過去5年平均）

56.7点

目標値
（R12）

62.3点

施策の成果指標

操業中の誘致企業数

現状値
（直近値）

62社

目標値
（R12）

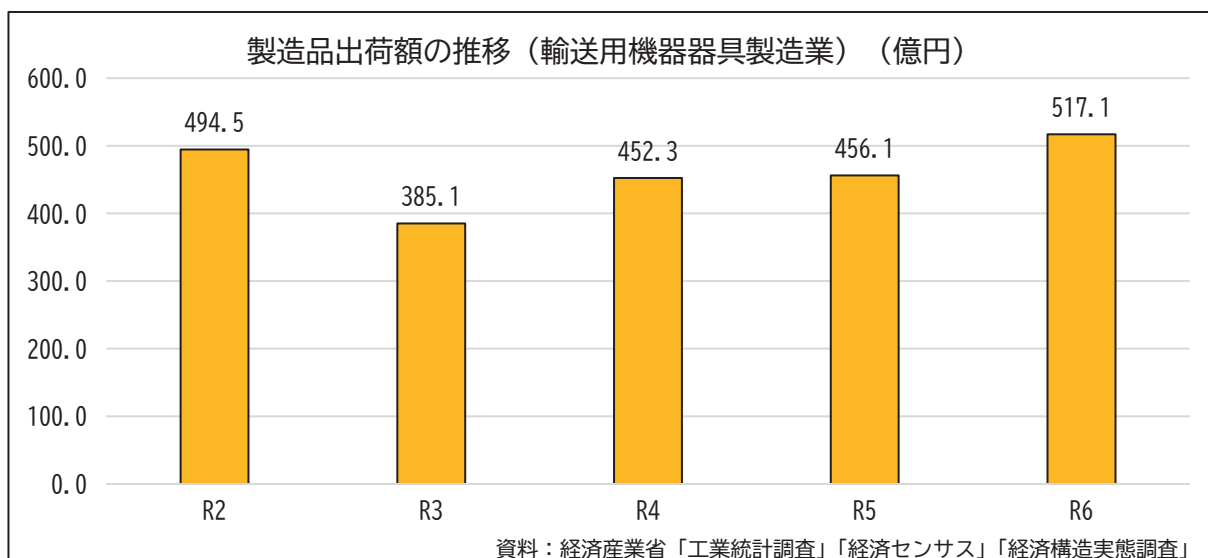
67社

市内延べ就職者数（年間）

1,939人

1,900人

関連グラフ



現状と課題

- 1 輸送機関連産業をはじめとする製造業の新規立地が進んでいますが、市外へ進学し専門的知識を身に付けた若者が地元回帰するための選択肢となる多種多様な就業先が不足しています。引き続き産業用地の確保を進めるほか、若者の就業先として人気の高いソフトウェア、情報処理、ネット関連及び研究開発型の企業誘致を進める必要があります。
- 2 少子高齢化の進行により生産年齢人口の減少が一層進んでいることから、人手不足が特に顕著となっています。若年者の地元定着策や高齢者等の活躍を推進し人材を確保するため、地元企業の魅力を伝える機会を創出するほか、休暇を取りやすくすることや健康管理に取り組むなど、職場環境の改善構築に向けた取組を市内事業所と一体となって推進する必要があります。
- 3 当市では、65歳以上の男性の労働参加率が高く、就労意欲も高い傾向にあります。この強みを生かし、労働意欲をもつ高齢者も、その能力を発揮し、生き生きと働くことのできる雇用環境の整備を支援する必要があります。



横手ものづくりネットワーク会議の様子

取組方針

若者の地元企業への定着のため、県や関係機関と連携しながら産業用地の確保に努め、多種多様な企業の誘致を推進します。また、より働きやすい職場づくりを推進する企業等の支援や、その魅力を効果的に発信し、地元定着を促すとともに、進学等で地元を離れた若者に地元回帰を促す取組を推進します。

施策の展開

1 企業誘致の推進

- 県との連携強化を図り、新規企業等への積極的な企業訪問を展開し企業誘致を進めます。
- 地理的及び業界ネットワークの優位性を生かし、自動車関連企業の集積を推進します。
- 進学等により身に付けた専門的知識を生かせる、IT・ソフトウェア産業、研究機関等の立地に取り組みます。
- 将来を見据え工業用地の整備に取り組みます。

主要事業等

企業誘致対策費（企業訪問による誘致活動、専門的知識を生かせる企業・研究機関へのアプローチ、サテライトオフィス誘致推進）、工業団地整備事業、IT・ソフトウェア関連産業企業立地優遇制度助成事業

2 地元企業との連携

- 地元企業と進出企業の連携を図り、経済活動の活性を図ります。
- 小学生、中学生、高校生向けの企業ガイダンス等の開催により、地元企業の魅力を伝えることで将来的な市内への就職につなげます。
- 経営者や管理者、従業員向けの講演会や研修会の開催により、仕事と家庭を両立させるための多様な柔軟な働き方の導入に取り組む事業者を後押しします。

主要事業等

産業誘致対策事業（ものづくりネットワーク会議・産業振興アドバイザーによる企業育成）

雇用の安定化

- 金融機関への預託金の交付や勤労者互助会、横手地方職業能力開発協会など各種団体への支援と連携により、労働環境の整備に努めます。
- 県、ハローワーク、商工団体等との連携により、求職者及び新規就職者の雇用拡大を図ります。
- 就職情報や移住定住施策と連携したポータルサイトを構築・運営し、企業側と求職者のマッチングを図ります。
- 市内企業による採用活動を支援する施策を推進し、地域内での就職機会の拡大と市内就職者の増加を図ります。

主要事業等

若年者等人財育成・地元定着支援事業

3 生涯現役社会の推進

- 横手市シルバー人材センターへの支援と連携により、高齢者の就労機会の拡大を図ります。

主要事業等

労働・雇用対策事業



「横手のスゴイ企業発見！！ガイダンス」の様子

みんなで一緒にできること

- 私たちは、地元出身者、関係者、友人、知人等を通じて横手の魅力を発信し、地元企業への就職を勧奨します。
- 事業者は、労働力人口の減少課題を解決するため、積極的な雇用活動を推進します。
- 事業者は、生涯現役社会の実現のため、働き続けられる環境整備に取り組みます。

関連計画

横手市商工業振興計画、横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略